

内容	これからの大多喜町各地域で展開していきたいフラワーパークやアーバンスポーツ施設の建設について、方向変換を希望します。 「物」を作って人を呼ぶという企画は、一時的には成功するかもしれませんが、やはり一時的です。20 年後、30 年後の「物」は不確実です。これからは、共生と共存の時代。物から精神の時代へと移って行くと思います。日本中で増えつつあるエコビレッジは、循環型建築やその土地本来の自然環境や伝統、文化と調和した暮らしを実現しています。 今あるものを調和させて、町の人達が豊かに、幸せに暮らしていたら、自然と確実に、人は集まって来るのではないのでしょうか。 「大多喜全体がエコビレッジ」ご一考ください。
回答	大多喜町のこれからについての「町長への手紙」の内容につきまして、次のとおりご回答申し上げます。 貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございます。現在、大多喜町におきましては、高齢化と有害獣の被害や米価低迷などにより離農する方が多く、町全体において遊休農地や耕作放棄地が急増しており、その農地が景観を損ねるとともに有害獣の棲みかとなり、さらなる農作物への被害拡大を誘発し、住民の住環境にも影響を及ぼしている状況にあります。 そのような状況の中、町では遊休農地や耕作放棄地の有効活用を図るため獣害に強い作物の発掘を試みつつ、獣害を受けにくい植物を植栽し、景観の復元と都市部との人的交流を促進し、経済の活性化及び人口の減少に歯止めを掛けることを目指しているものです。 また、ハーブパーク等については、自然環境に配慮し人工物の設置は

最小限にとどめ、ハーブ類などの植物の植栽を基本として設置をしているものですので、ご理解をお願いいたします。

次にアーバンスポーツ施設の建設に関するご懸念について、当町としても真摯に受け止めております。ご指摘の通り、施設の建設は一時的な成功に終わる可能性もありますが、当町では長期的な視点を持って計画を進めております。

まず、アーバンスポーツ施設の整備は、町の交流人口の増加を促し、地域経済の活性化に寄与することを目的としています。新しい施設は、スポーツ愛好者だけでなく、家族連れや観光客を含む幅広い層の方々を惹きつけることで、地域の商業活動やサービス業に新たな活力をもたらすと考えております。

また、アーバンスポーツを通じて、当町の認知度を高めることを目指しています。自然豊かな地形を活かしたサイクルスポーツなどの推進により、健康社会の実現を図り、同時に観光振興にも繋がると信じております。これにより、20年、30年後も持続可能な町の発展に寄与すると確信しております。

当町は、皆様のご意見を反映させながら、より良い未来を築くために努力を続けてまいります。今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。